

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する 活動報告レポート

[2024 年第 3 四半期（7 月～9 月）]

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する活動報告レポートについて
本レポートでは、2024 年 7 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日までの間に JVN iPedia
で登録をした脆弱性対策情報の統計及び事例について紹介しています。

目次

1. 2024 年第 3 四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況	- 2 -
1-1. 脆弱性対策情報の登録状況	- 2 -
2. JVN iPedia の登録データ分類.....	- 3 -
2-1. 脆弱性の種類別件数	- 3 -
2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合	- 4 -
2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種類別件数	- 6 -
2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況	- 7 -
3. 脆弱性対策情報の活用状況	- 8 -

1. 2024年第3四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況

脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia (<https://jvndb.jvn.jp/>)」は、ソフトウェア製品に関する脆弱性対策情報を2007年4月25日から日本語で公開しています。システム管理者が迅速に脆弱性対策を行えるよう、1) 国内のソフトウェア開発者が公開した脆弱性対策情報、2) 脆弱性対策情報ポータルサイト JVN⁽¹⁾ で公表した脆弱性対策情報、3) 米国国立標準技術研究所 NIST⁽²⁾ の脆弱性データベース「NVD⁽³⁾」が公開した脆弱性対策情報を集約、翻訳しています。

1-1. 脆弱性対策情報の登録状況

～脆弱性対策情報の登録件数の累計は 216,796 件～

2024年第3四半期(2024年7月1日から9月30日まで)にJVN iPedia 日本語版へ登録した脆弱性対策情報は表1-1の通りとなり、2007年4月25日にJVN iPediaの公開を開始してから本四半期までの、脆弱性対策情報の登録件数の累計は216,796件になりました(表1-1、図1-1)。なお、2024年第3四半期にJVN iPediaの登録件数が増加した理由は、当該期間中にNVDにおける脆弱性情報の公開が増加し、それに伴う公開をしたためです。

また、JVN iPedia 英語版へ登録した脆弱性対策情報は表1-1の通り、累計で8,763件になりました。

表 1-1. 2024年第3四半期の登録件数

	情報の収集元	登録件数	累計件数
日本語版	国内製品開発者	7件	288件
	JVN	245件	15,698件
	NVD	8,511件	200,810件
	計	8,763件	216,796件
英語版	国内製品開発者	7件	291件
	JVN	52件	2,611件
	計	59件	2,902件

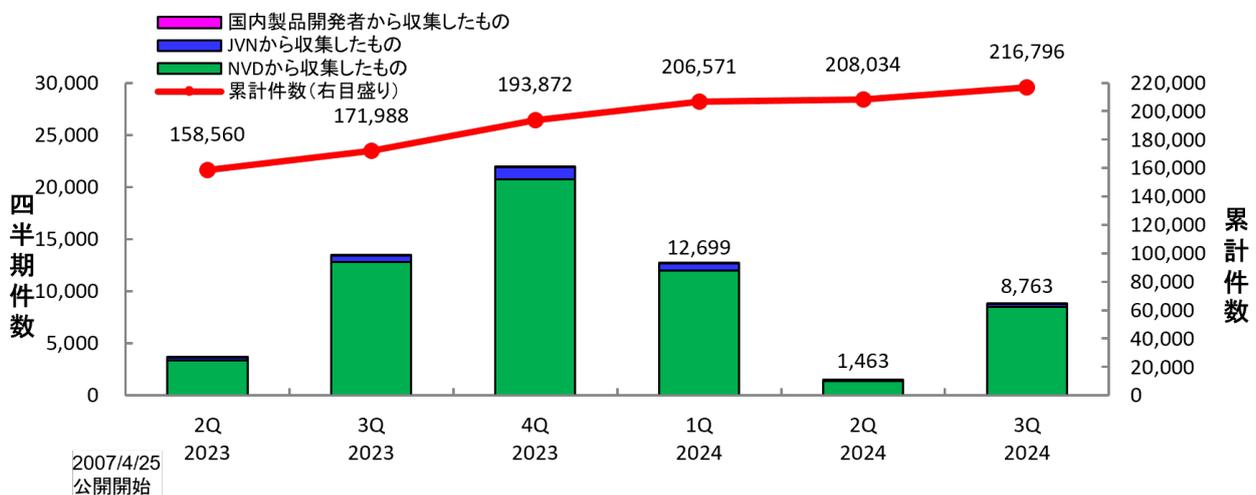


図 1-1. JVN iPedia の登録件数の四半期別推移

(1) Japan Vulnerability Notes : 脆弱性対策情報ポータルサイト。製品開発者の脆弱性への対応状況を公開し、システムのセキュリティ対策を支援しています。IPA、JPCERT/CC が共同で運営しています。 <https://jvn.jp>

(2) National Institute of Standards and Technology : 米国国立標準技術研究所。米国の科学技術分野における計測と標準に関する研究を行う機関 : <https://www.nist.gov>

(3) National Vulnerability Database : NIST が運営する脆弱性データベース。 <https://nvd.nist.gov>

2. JVN iPedia の登録データ分類

2-1. 脆弱性の種類別件数

図 2-1 は、2024 年第 3 四半期（7 月～9 月）に JVN iPedia へ登録した脆弱性対策情報を、共通脆弱性タイプ一覧(CWE)によって分類し、件数を集計したものです。

集計結果は件数が多い順に、CWE-79(クロスサイトスクリプティング)が 1,160 件、CWE-89(SQL インジェクション)が 572 件、CWE-787 (境界外書き込み)が 376 件、CWE-476 (NULL ポインタデリファレンス)が 225 件、CWE-352 (クロスサイト・リクエスト・フォージェリ)が 209 件でした。最も件数の多かった CWE-79 (クロスサイトスクリプティング)は、悪用されると偽のウェブページが表示されたり、情報が漏えいしたりするおそれがあります。

製品開発者は、ソフトウェアの企画・設計段階から、脆弱性の低減に努めることが求められます。IPA ではそのための資料やツールとして、開発者が実施すべき脆弱性対処をまとめた資料「[脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド](#)^(*)」、開発者や運営者がセキュリティを考慮したウェブサイトを作成するための資料「[安全なウェブサイトの作り方](#)^(*)」、脆弱性の仕組みを実習形式や演習機能で学ぶことができる脆弱性体験学習ツール「[AppGoat](#)^(*)」などを公開しています。

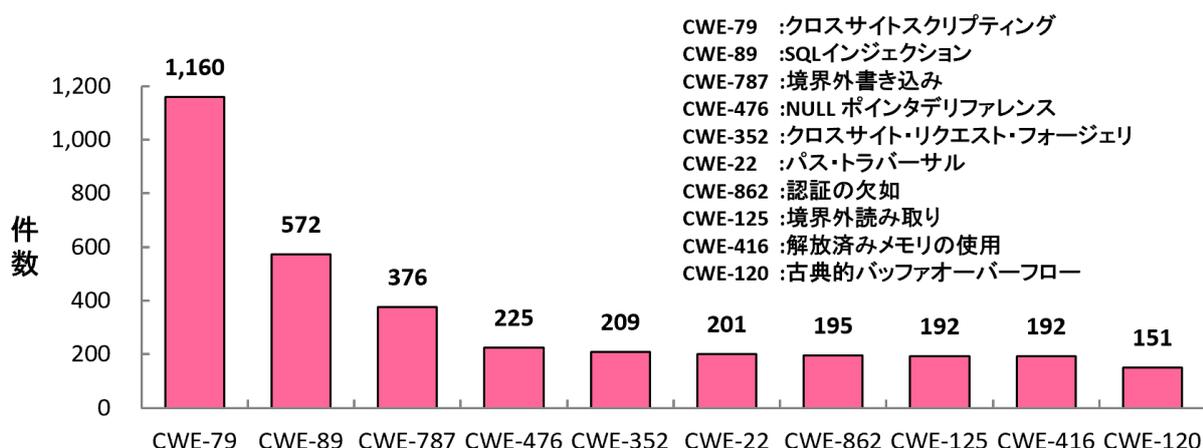


図 2-1. 2024 年第 3 四半期に登録された脆弱性の種類別件数

^(*) IPA : 「脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド」
<https://www.ipa.go.jp/security/guide/vuln/forvendor.html>

^(*) IPA : 「安全なウェブサイトの作り方」
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity/about.html>

^(*) IPA : 「脆弱性体験学習ツール AppGoat」
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/appgoat/index.html>

2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合

図 2-2 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv2 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2024 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、レベル 3 が全体の 30.2%、レベル 2 が 60.9%、レベル 1 が 8.8% となっており、情報の漏えいや改ざんされるような危険度が高い脅威であるレベル 2 以上が 91.1% を占めています。

なお、2024 年に JVN iPedia における CVSSv2 の登録件数が大幅に減少した理由は、JVN iPedia の情報収集元である NVD において CVSSv2 の評価が積極的には行われていない⁽⁷⁾ ためです。

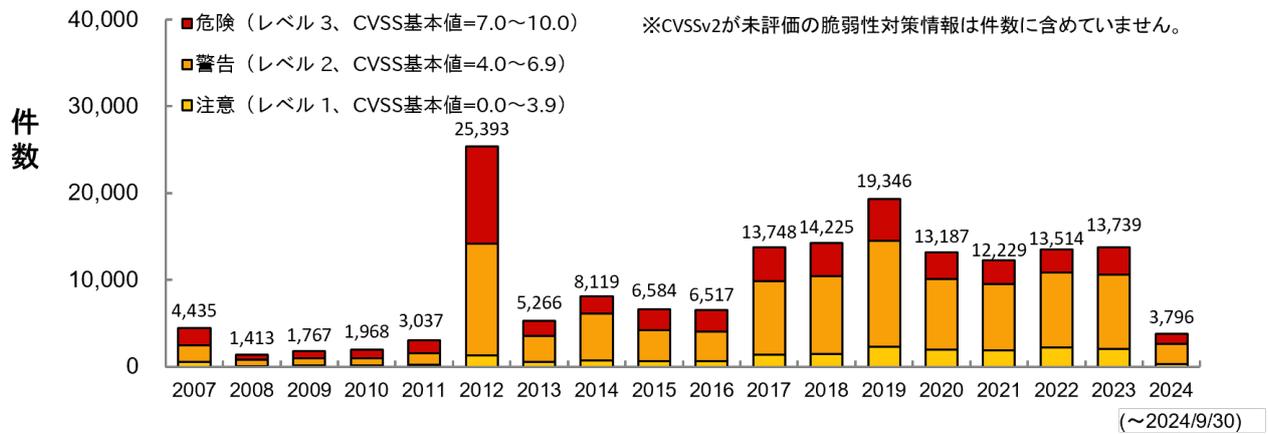


図 2-2. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv2)

⁽⁷⁾ NIST : 「Retirement of CVSS v2」
<https://nvd.nist.gov/general/news/retire-cvss-v2>

図 2-3 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv3 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2024 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、「緊急」が全体の 15.2%、「重要」が 36.3%、「警告」が 46.9%、「注意」が 1.6%となっています。

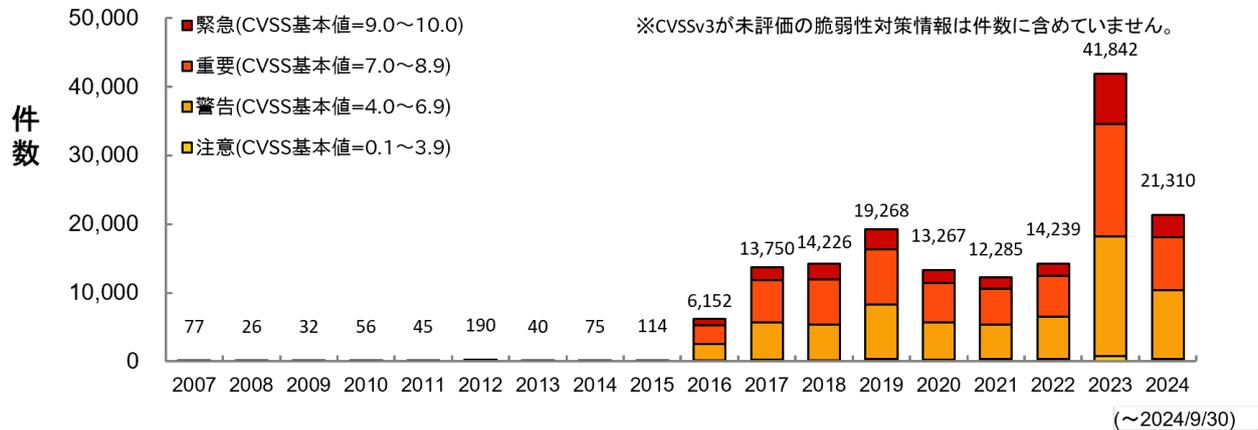


図 2-3. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv3)

既知の脆弱性による脅威を回避するため、製品開発者は常日頃から新たに報告される脆弱性対策情報に注意を払うと共に、脆弱性が解消されている製品へのバージョンアップやアップデートなどを速やかに行ってください。

なお、新たに登録した JVN iPedia の情報を、RSS 形式や XML 形式^(*)で公開しています。

(*) IPA : 「JVN iPedia データフィード」
<https://jvndb.jvn.jp/ja/feed/>

2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種別別件数

図 2-4 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報をソフトウェア製品の種別別に件数を集計し、年次でその推移を示したものです。2024 年で最も多い種別は「アプリケーション」に関する脆弱性対策情報で、2024 年の件数全件の約 73.4%（16,842 件／全 22,924 件）を占めています。

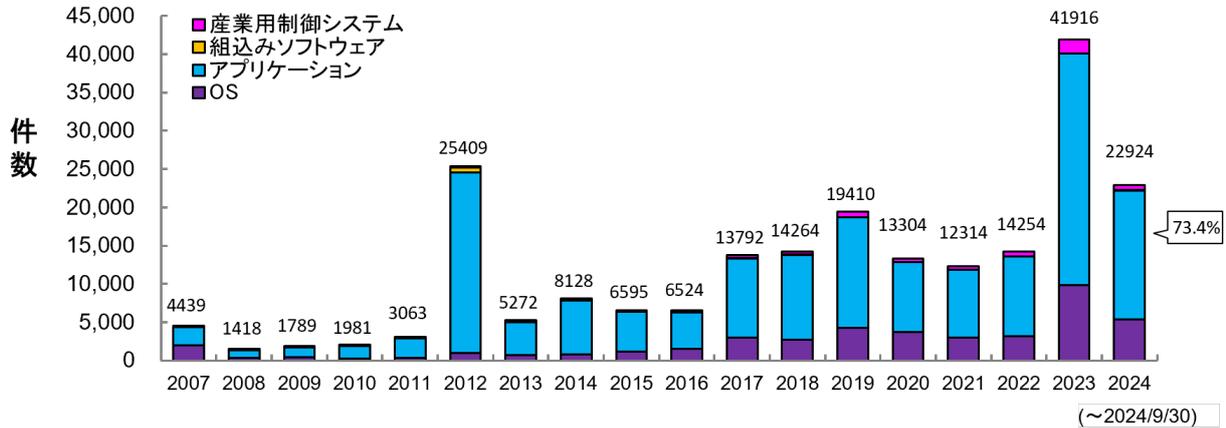


図 2-4. 脆弱性対策情報を公表した製品の種別別件数の公開年別推移

図 2-5 は重要インフラなどで利用される、産業用制御システムに関する脆弱性対策情報の件数を集計し、年次でその推移を示したものです。これまでに累計で 6,471 件を登録しています。

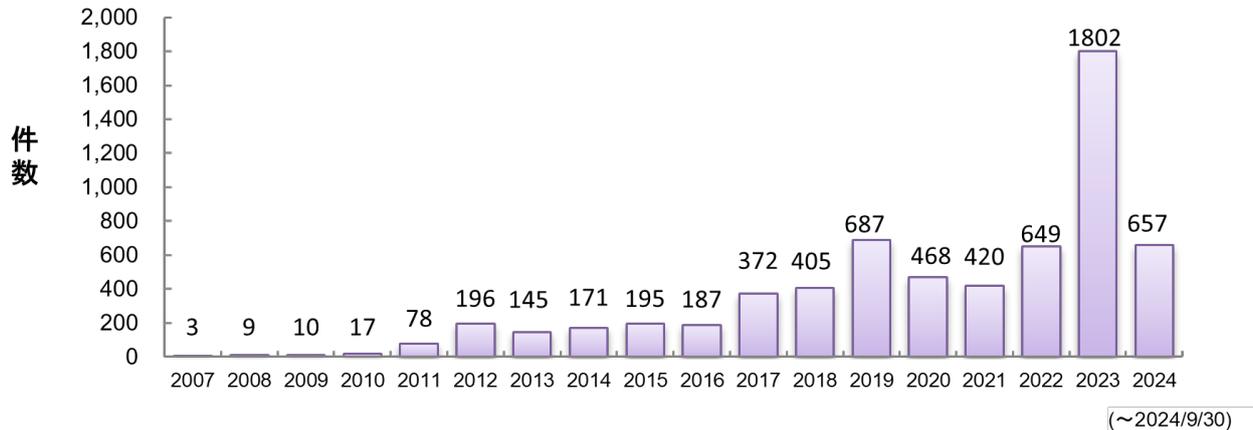


図 2-5. JVN iPedia 登録件数（産業用制御システムのみ抽出）

2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況

表 2-1 は 2024 年第 3 四半期（7 月～9 月）に JVN iPedia へ登録された脆弱性対策情報の中で登録件数が多かった製品上位 20 件を示したものです。

本四半期においては Linux Kernel が 1 位となりました。2 位以降はクアルコム製品や、Google、アップル、マイクロソフトなどの幅広いベンダの OS がランクインをしました。

JVN iPedia は、表に記載されている製品以外にも幅広い脆弱性対策情報を登録公開しています。製品の利用者や開発者は、自組織などで使用しているソフトウェアの脆弱性対策情報を迅速に入手し、効率的な対策に役立ててください^(*)。

表 2-1. 製品別 JVN iPedia の脆弱性対策情報登録件数 上位 20 件 [2024 年 7 月～2024 年 9 月]

順位	カテゴリ	製品名（ベンダ名）	登録件数
1	OS	Linux Kernel (Linux)	715
2	ファームウェア	Qualcomm component (クアルコム)	556
3	OS	macOS (アップル)	265
4	OS	iOS (アップル)	228
5	OS	iPadOS (アップル)	184
6	OS	Microsoft Windows Server 2022 (マイクロソフト)	181
7	OS	Microsoft Windows Server 2019 (マイクロソフト)	168
8	OS	Microsoft Windows Server 2016 (マイクロソフト)	166
9	OS	Microsoft Windows 11 (マイクロソフト)	158
10	OS	Microsoft Windows 10 (マイクロソフト)	156
11	OS	watchOS (アップル)	131
12	OS	Microsoft Windows Server 2012 (マイクロソフト)	130
13	OS	Android (Google)	123
14	OS	tvOS (アップル)	122
15	OS	Apple Mac OS X (アップル)	87
16	OS	Microsoft Windows Server 2008 (マイクロソフト)	84
17	その他	GitLab (GitLab.org)	82
18	ブラウザ	Google Chrome (Google)	79
19	ブラウザ	Safari (アップル)	43
20	ブラウザ	Mozilla Firefox (Mozilla Foundation)	40

^(*) IPA：「脆弱性対策の効果的な進め方（実践編）」
<https://www.ipa.go.jp/security/reports/technicalwatch/20150331.html>

3. 脆弱性対策情報の活用状況

表 3-1 は 2024 年第 3 四半期（7 月～9 月）にアクセスが多かった JVN iPedia の脆弱性対策情報の上位 20 件を示したものです。

本四半期は、WordPress 用のプラグインの脆弱性が多くランクインしました。これは特定の組織より機械的なアクセスを受けたことによるものと考えられます。

表 3-1. JVN iPedia の脆弱性対策情報へのアクセス 上位 20 件 [2024 年 7 月～2024 年 9 月]

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス数
1	JVNDB-2024-006282 Palo Alto Networks の Windows 用 globalprotect における重要なリソースに対する不適切なパーミッションの割り当てに関する脆弱性	-	7.8	2024/8/23	14,287
2	JVNDB-2022-012258 The JForum Team の Jforum におけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性	6.8	8.8	2023/8/28	10,396
3	JVNDB-2024-000064 WordPress 用プラグイン SiteGuard WP Plugin における変更したログインパスが漏えいする脆弱性	-	5.3	2024/6/19	8,497
4	JVNDB-2024-000066 WordPress 用プラグイン WP Tweet Walls および Sola Testimonials におけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性	-	4.3	2024/6/26	7,733
5	JVNDB-2024-000058 WordPress 用プラグイン Music Store - WordPress eCommerce における SQL インジェクションの脆弱性	-	4.7	2024/6/7	7,452
6	JVNDB-2024-000050 WordPress 用プラグイン WP Booking におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	-	5.4	2024/5/24	7,082
7	JVNDB-2022-000026 WordPress 用プラグイン「MicroPayments - Paid Author Subscriptions, Content, Downloads, Membership」におけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性	2.6	4.3	2022/4/15	6,587
8	JVNDB-2023-000094 WordPress 用プラグイン Welcart e-Commerce における複数の脆弱性	5.5	5.4	2023/9/22	6,474
9	JVNDB-2022-000023 WordPress 用プラグイン Advanced Custom Fields における認証欠如の脆弱性	4.0	6.5	2022/3/30	6,321
10	JVNDB-2022-000038 WordPress 用プラグイン WP Statistics におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	2.6	6.1	2022/5/24	5,782
11	JVNDB-2024-000041 WordPress 用プラグイン Forminator における複数の脆弱性	-	9.8	2024/4/18	5,700

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス数
12	JVNDB-2024-000049 WordPress 用プラグイン Download Plugins and Themes from Dashboard におけるパストラバーサル の脆弱性	-	2.7	2024/5/17	5,651
13	JVNDB-2022-000041 WordPress 用プラグイン Modern Events Calendar Lite におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	4.0	5.4	2022/6/1	5,626
14	JVNDB-2024-000038 WordPress 用プラグイン Ninja Forms における複数の脆弱性	-	5.4	2024/4/8	5,613
15	JVNDB-2024-000033 WordPress 用プラグイン easy-popup-show におけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性	2.6	4.3	2024/3/25	5,596
16	JVNDB-2024-000001 WordPress 用プラグイン WordPress Quiz Maker Plugin における不適切な入力確認の脆弱性	4.0	5.0	2024/1/12	5,568
16	JVNDB-2024-000044 WordPress 用プラグイン Heateor Social Login WordPress におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	-	5.4	2024/5/8	5,568
18	JVNDB-2022-000087 WordPress における複数の脆弱性	5.0	5.3	2022/11/8	5,544
19	JVNDB-2023-000070 WordPress 用プラグイン TS Webfonts for さくらのレンタルサーバにおける複数の脆弱性	2.6	6.1	2023/7/20	5,501
20	JVNDB-2023-000050 WordPress 用プラグイン MW WP Form および Snow Monkey Forms における複数の脆弱性	7.5	8.3	2023/5/15	5,498

表 3-2 は国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報でアクセスの多かった上位 5 件を示しています。

表 3-2. 国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報へのアクセス上位 5 件 [2024 年 7 月～2024 年 9 月]

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス数
1	JVNDB-2024-006367 Hitachi Device Manager における Windows サービスの実行ファイルパスが引用符で囲まれていない脆弱性	-	6.7	2024/8/23	4,310
2	JVNDB-2024-006646 Hitachi Ops Center Common Services における認証バイパスの脆弱性	-	7.8	2024/8/27	2,703
3	JVNDB-2024-005167 Hitachi Tuning Manager における EL インジェクションの脆弱性	-	8.6	2024/8/13	2,577
4	JVNDB-2024-002961 Cosminexus Component Container における情報露出の脆弱性	-	5.6	2024/3/13	2,100
5	JVNDB-2024-003181 DT900 における認証不備の脆弱性	-	-	2024/5/10	2,083